

令和6年2月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,777億円（対前年同月比1.5%の減少、比率ベース：2ヵ月ぶりの減少）、輸入総額は1,042億円（同19.2%の減少、2ヵ月ぶりの減少）であった。差引額は735億円（同43.0%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「二輪自動車類」などが増加したものの、「加熱用・冷却用機器」、「原動機」、「金属加工機械」などは減少した。
輸入は「その他の採油用種子」、「魚介類及び同調製品」などが増加したものの、「がん具及び遊戯用具」、「有機化合物」、「科学光学機器」などは減少した。

地域別では、輸出は「EU」、「アジア」、「アメリカ」が減少した。輸入は「アメリカ」が減少、「アジア」、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,777億円	▲1.5%	1,042億円	▲19.2%	735億円	+43.0%
	2ヵ月ぶりの減少		2ヵ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	173億円	+37.9%	輸入	増加品目	(1) その他の採油用種子	22億円	全増
		(2) 二輪自動車類	204億円	+26.7%			(2) 魚介類及び同調製品	161億円	+10.7%
		(3) 科学光学機器	140億円	+15.0%			(3) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	40億円	+49.0%
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	24億円	▲74.6%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	9億円	▲88.7%
		(2) 原動機	232億円	▲17.9%			(2) 有機化合物	37億円	▲29.2%
		(3) 金属加工機械	10億円	▲57.8%			(3) 科学光学機器	7億円	▲47.6%
主要地域増減	EU、アジア、アメリカが減少				主要地域増減	アメリカが減少、アジア、EUは増加			

（参考）ドルレートは、148.18円（前年同月比13.7%、17.80円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	+34.9%	47億円	+65.8%	▲38億円	+74.9%
	2ヵ月ぶりの増加		4ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	3億円	4.3倍	輸入	増加品目	(1) 石炭	11億円	全増
		(2) 金属鉱及びくず	1億円	全増			(2) とうもろこし	18億円	+28.5%
		(3) 写真用・映画用材料	3億円	+5.9%			(3) 有機化合物	5億円	+32.2%
	減少品目	(1) 電気計測機器	—	全減		減少品目	(1) 無機化合物	57百万円	▲57.3%
		(2) 有機化合物	13百万円	▲70.4%			(2) 魚介類及び同調製品	—	全減
		(3) ポンプ及び遠心分離機	—	全減			(3) 金属製品	—	全減
主要地域増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少				主要地域増減	アメリカ、アジア、EUが増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	478億円	+62.9%	18億円	+37.7%	460億円	+64.0%
	17ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	324億円	2.1倍	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	6億円	2.3倍
		(2) 自動車の部分品	47億円	+58.8%			(2) 木材及びコルク	2億円	466倍
		(3) 二輪自動車類	18億円	+73.4%			(3) 有機化合物	1億円	2.1倍
	減少品目	(1) 無機化合物	10億円	▲29.7%		減少品目	(1) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(2) 運動用具	13百万円	▲93.0%			(2) 無機化合物	—	全減
		(3) 金属鉱及びくず	—	全減			(3) 医薬品	—	全減
主要地域増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし